



2025年8月27日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズHD  
代表者名 代表取締役社長 寺田 智美  
(コード番号 3726 スタンダード市場)  
問合せ先 代表取締役副社長 松野 博彦  
(TEL. 092-720-5460)

(開示事項の経過) 暗号資産投資・Web3.0 事業に関して THUNDERBOLT ADVISORS PTE. LTD との  
アドバイザー契約締結に関するお知らせ

2025年8月27日開催の取締役会において、THUNDERBOLT ADVISORS PTE. LTD (以下「THUNDERBOLT 社」といいます。) との間で暗号資産投資におけるビットコインを当社の企業財務資産として導入すること及び Web3.0 を活用した事業戦略に関してのコンサルティングおよび助言サービスを提供することを目的としたアドバイザー契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本契約の背景と目的

当社は、2025年7月11日に公表しました「新たな事業 (Web3.0 を活用したシステム・金融事業) の開始に関するお知らせ」に記載のとおり、事業拡大に伴う資産運用の一環として財務基盤の強化を目指すことを目的として、金融サービス事業としてビットコインの保有、運用を行っていくことを決議しましたが、この度、ビットコインの保有・投資・運用に関するアドバイザーとして、THUNDERBOLT 社と契約することとなりました。

当社は現在展開している“美と健康に関する事業”“再生可能エネルギー事業”における Web3.0 を活用した事業展開を推進しています。このような Web3.0 の活用検討を進める過程において、代表取締役副社長の松野が国内外における金融機関と情報交換を行う中で、暗号資産分野の様々なプロジェクトに積極的に取り組みをされており注目のコーポレートアドバイザー会社である THUNDERBOLT 社を紹介いただきました。THUNDERBOLT 社は設立間もない企業ではありますが、金融とデジタルアセットの両分野において深い専門知識を有し、ビットコイン等の仮想通貨への投資、Web3.0 を活用した経営コンサルティングを主とする企業です。2025年6月頃から代表者 Yang Lu 氏、代表取締役副社長の松野、CFO の浦と打ち合わせを重ねてまいりました。そのような中で、当初はビットコインを保有することで、事業拡大に伴う資産運用の一環として財務基盤の強化を目指すこととしておりましたが、この度ビットコインを財務資産とし、他のビットコイン関連企業への投資等を含む戦略を計画、また資金調達先の紹介を行うことをご提案いただきました。

前述のとおり、当社は新たな事業として Web3.0 を活用したシステム・金融事業を開始しております。Web3.0 事業については、2025年7月23日に「(開示事項の経過) 循環資源ホールディングスとの業務提携に関するお知らせ」で公表しておりますとおり、再生可能エネルギー事業において、太陽光発電所や系統用蓄電池事業の土地取得に関する精緻な見積もりの設計や効率的かつ計画的な運営を目的として、AI を含めた Web3.0 の技術を活用した負担金予測システムの開発を進めております。

THUNDERBOLT 社は、当社の事業内容、また今後の事業の成長戦略について興味をもっていただき、ビ

ビットコイン等の仮想通貨への投資、Web3.0を活用した事業戦略についてのアドバイスを行うことを提案いただきました。当社としても、単に金融サービス事業としてビットコインを保有・運用するだけでなく、積極的に既存事業においてWeb3.0に関連した様々な技術を活用し、そのノウハウを自社に蓄積していくことで、ブロックチェーンで情報を透明かつ正確に記録する方法や自動的に契約や処理を行う仕組み、コミュニティやユーザーが参加して育てていくようなサービスの作り方等において既存事業である“美と健康に関する事業”“再生可能エネルギー事業”においても、事業の根幹として掲げる、お客様により良い暮らしをご提案するお悩み解決型企業としての事業を強化・加速していくこと、事業成長に伴う資産運用の一環として仮想通貨を保有することで財務健全性の向上を図っていくことが可能であると判断いたしました。

本契約により既存事業においてはWeb3.0技術の活用をスピードを加速し、収益拡大を追求することとともに、ビットコインによる資産運用の可能性を広げることにより、当社の企業価値向上を目指してまいります。

## 2. 本契約の内容

本契約の目的は、Web3.0を活用した既存事業の強化及び財務基盤の強化を目指すものであります。本契約では、前提条件としてビットコインを企業財務資産とすること、当社の成長戦略を加速させるべく、資金調達を行うこととしており、現在の時価総額の5～10%を目標とした資金調達または資本戦略を検討していきます。調達した資金については、90%をビットコイン購入に、10%を事業資金に充てる計画であり、ビットコインの購入、運用を継続しながら、当該資金を活用することで、既存事業の更なる成長を推進していきます。ただし資金調達及び資本戦略については状況にあわせて変更が生じる可能性がありますので、変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

THUNDERBOLT社は、ビットコイン財務戦略に関する会社の独占的なコーポレートアドバイザー及びビットコイン戦略に関する広報面のアドバイザーとして、ビットコインを企業財務資産として組み入れること及び取得したビットコインの運用・管理に関するコンサルティングおよび助言サービスの提供、会社の資金調達活動への投資および投資家の募集を行ってまいります。

当社につきましては、本契約締結後に一定の固定報酬及び当社が投資を受領した場合に変動報酬の支払いが生じることとなります。なお、本契約は独占的なアドバイザー契約となるため、ビットコインを企業の財務資産として取得し、管理を含むビットコイン財務戦略の実行に関連する事項について、事前の書面による同意なしに、第三者との活動や取引に関与する違反があった場合は、当社はTHUNDERBOLT社に対して20万ドルの違約金が発生することとなります。また、本契約期間及び契約終了後1年の間は、ビットコイン財務戦略における資金調達においてTHUNDERBOLT社が優先的な購入権を有することとなり、THUNDERBOLT社またはその関連会社が、当社が提示した条件とほぼ同じ条件で、任意の金額を投資できる権利を持つことに同意しております。

現時点においては、以下記載の戦略的なロードマップを目標として、双方にて取り組んでいくことを予定しております。現時点での資金調達及び資本戦略及び今後の計画となりますので、変更が生じる可能性があります。変更が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

### フェーズ1（1～3か月目）：発表および初動の推進

- ・会社における包括的なビットコイン財務戦略の実行に関する全体的な戦略計画の策定
- ・第1回のビットコイントランシェを購入
- ・市場環境に応じて数週間から数か月にわたり複数のトランシェに分割して実施することを検討
- ・THUNDERBOLT社は利害関係を一致させるため資金調達の第一ラウンドに出資を予定
- ・新たな戦略的ロードマップを推進するため、評価の高い広報及びコミュニケーションの専門家を起用
- ・アジア、ヨーロッパ、北米、中東にわたるグローバルパートナーと協力し、ビットコインを企業の財務資産として導入するという戦略計画を広く発信、推進

- ・取得したビットコインの安全な保管を確保するため、信頼性の高いカストディ・ソリューションの提供者を選定、起用
- ・ビットコインの購入においてベスト・エグゼキューションを確保するため、信頼性の高い実行ブローカーを選定、起用

フェーズ2（4～6か月目）：ビットコインへの投資を継続

- ・企業のバランスシートにおけるビットコインの継続的な取得に向け、資金の調達を実行
- ・戦略的ロードマップの継続的な精緻化及び取得済みのビットコインの管理
- ・国内外の法人の中で当社の投資先を特定し、投資を開始
- ・本フェーズにおけるビットコイン購入規模は、市場環境及び投資家の需要により変動の可能性はあるが、約300万から1000万米ドルを想定

フェーズ3（7～12か月目）：ビットコイン財務会社としての地位を確立し、世界のビットコイン財務会社への投資を行う

- ・企業のバランスシートにおけるビットコイン取得を継続するために追加の資金調達を実行
- ・日本国内において、包括的なビットコイン財務戦略を採用する企業として、確固たる地位を構築
- ・本フェーズにおけるビットコイン購入規模は、実際の株式市場及びビットコインの市場により変動することを想定
- ・本フェーズの終了時点において、グローバルな主要資本市場に所在する1社又は2社について、ビットコイン財務戦略を有する企業の株式を保有していることを想定
- ・本フェーズにおいても、ビットコインの追加購入に向けた資金調達を実行

しかしながらビットコインは高い成長性が期待される一方で、価格変動やセキュリティ、規制など以下のリスクが存在します。当社ではこれらのリスクを的確に把握し、必要に応じたリスク対策を講じることで、より安定した資産運用が可能となると考えております。

#### ① 価格変動リスク（ボラティリティ）

ビットコインは法定通貨や株式と比べても価格変動が大きく、短期間で数十%の値動きが発生することがあり、事業の資産価値や財務諸表に直接影響を与える可能性がございます。リスク対応策として、ビットコイン購入については、時価総額の10%の90%に限定します。また、事前に保有方針をTHUNDERBOLT社との協議のもと明確化し、短期の価格変動に左右されない運用ルールを策定してまいります。

#### ② 規制・法制度リスク

国や地域によって暗号資産に対する法制度が異なり、税務・会計・取引規制が急に変更される可能性があります。特定国では禁止や厳しい制限が課されるリスクがあるため、最新の法規制動向を継続的にモニタリング、THUNDERBOLT社を含めて、弁護士・公認会計士などの専門家と連携し、規制変更への迅速な対応体制を構築してまいります。また、保有・取引先の国や地域を分散することで当該リスクにも対応してまいります。

#### ③ 会計・税務リスク

日本では税務処理が複雑で、誤処理によるペナルティリスクがありますが、会計方針を明確にし、監査法人や税理士と連携して処理ルールを確定してまいります。当社の監査法人では、暗号資産の監査に実績のある担当者がございますので、適宜意見交換を行いながらプロジェクトを進めてまいります。また、取引履歴を正確に記録・保存できるツールを利用することでリスクを軽減できると考えておりますのでTHUNDERBOLT社と協議を行い進めてまいります。

#### ④サイバーセキュリティ・管理リスク

ハッキングや内部不正によるウォレット流出リスクについて、コールドウォレット(オフライン保管)を基本とし、インターネットに常時接続された状態で仮想通貨を保管・管理する仕組みであるホットウォレットは必要最小限にすること、マルチング(複数署名)によるアクセス制御等についても検討を進めること、また権限分離と監査ログの保存が必要不可欠となるため社内規定の策定を行ってまいります。

#### ⑤流動性リスク

市場の出来高が急減すると、大口取引で希望価格での売買ができない可能性がございます。特定取引所が停止・破綻するリスクがありますが、取引所を複数利用し、流動性のある市場を選定していくことでリスクを軽減できるため、今後 THUNDERBOLT 社との協議を進めてまいります。

### 3. 本契約先の概要

(1) 名称	THUNDERBOLT ADVISORS PTE. LTD	
(2) 所在地	100D PASIR PANJANG ROAD #05-03 MEISSA SINGAPORE 118520	
(3) 代表者の役職・氏名	代表者 Yang Lu	
(4) 事業内容	経営コンサルティングサービス	
(5) 資本金	1,000.00ドル	
(6) 設立年月日	2024年11月	
(7) 大株主及び持株比率	Yang Lu 100%	
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態	当該会社は、設立から1年未満のため、当該会社の経営成績及び財政状態については、記載していません。	

### 4. 日程

(1) 取締役会決議	2025年8月27日
(2) 契約締結日	2025年8月27日
(3) 事業開始日	2025年8月27日

### 5. 今後の見通し

本件による当社の今期の連結業績への影響は現在精査中です。確定次第速やかにお知らせいたします。また、本件は将来にわたって当社グループの業績向上に資するものと考えております。重要な進捗または見通しの変更が生じた場合には、速やかに追加開示を行ってまいります。

以上